

コンプレッサーご使用時の注意点



ご注意

- ① 機械は水平な位置に停止させ、輪止めなどをしてください。
- ② 共同作業の場合は合図を励行し、関係者以外の人を近づけないようにしてください。
- ③ ご使用前にはアンロード状態で暖気運転を行って下さい。
又、運転前にはエア中の水抜きのために空運転をして下さい。(目安1～2分)
- ④ 加熱部分(排気管周り等に触れたり、回転部分に巻き込まれたりしないように十分注意して下さい。
- ⑤ 内圧のかかっている箇所のキャップやプラグをはずすときは機械を停止し、内圧を逃してから行い、測定器具などの接続は確実に行ってください。

コンプレッサーの選定について

エアーツ具は通常ゲージ圧力を0.49～0.69Mpa(5～7kgf/cm²)間で使用されるよう設計製作されております。

エアーツ具が作動している間は、各機種毎仕様欄の空気消費量を必要とします。従ってコンプレッサの空気吐出量は、同時使用エアーツ具の空気消費量の和より多くなければなりません。吐出量が不足するとエアーツ具の能力低下をおこします。理想的には配管ロス、圧力低下等を加味し、全消費量より20%位吐出量の多いコンプレッサを使用されることが望ましく、一般的にコンプレッサの吐出量1m³/minに対するエンジンの馬力は10馬力です。余裕のある馬力のコンプレッサーをお選び下さい。

エアーツ具使用台数の目安

		コンプレッサー型式・空気量				
		21PS	26PS	35PS	51PS	80PS
エアーツ具	空気消費量 (m ³ /min)	PDS70S 空気量2.0m ³ /min	PDS90S 空気量2.5m ³ /min	PDS125S 空気量3.5m ³ /min	PDS175S 空気量5.0m ³ /min	PDS265S 空気量7.5m ³ /min
チップパー	0.45	3～4	4～8	6～10	8～12	12～18
コールピック	1.0	2～3	2～4	3～5	4～7	6～11
エアーツプレーカー	1.4	1	1～2	1～3	2～5	3～7
	1.7	1	1	1～2	2～4	3～6
シンカー	2.3	—	1	1～2	2～3	4～5
	2.9	—	—	1	1	2
さく岩機(ログドリル)	2.1	—	—	1	2～3	4

(注) 使用台数は、エアーツ具の新・旧及びエアーツホースの長・短によって異なりますのでご注意ください。